

# 高原図鑑

PLATEAU PICTORIAL BOOK



写真：アカマツを這いあがるツタウルシ（撮影：令和3年10月29日）

## 「ツタウルシ」

ツタウルシ *Toxicodendron orientale* ウルシ科 ウルシ属

### 紅葉の季節

**朝**夕にぐつと冷え込むと、それが刺激となり紅葉は一気に進みます。標高1200mのえびの高原から始まる登山道には落葉広葉樹が多く、色とりどりの紅葉を楽しむことができます。その中でも比較的早くから色づくのがツタウルシです。

ツタ状に這い上がるウルシの仲間「ツタウルシ」。ウルシ科の中でも最もかぶれる成分が強いようです。うっかり触らないように注意する必要があります。

えびの高原では、アカマツの木を這いあがる姿を見ることが多いです。気根と呼ばれる細い根をツタから出し、アカマツの樹皮にへばりつきながら上へ上へと成長し、日当たりが良い高さでテーブル上に枝葉を広げます。紅葉した葉を下からのぞき込むと、黄、オレンジ、赤など、燃えるような紅葉の美しさに目を奪われます。

さらに、黄色のシロモジ、真っ赤なナナカマドなども加わり、霧島山はひとときの間鮮やかな木々の共演で美しく染められます。

（文）えびのエコミュージアムセンター

霧島山の  
めぐみめぐる  
えびの  
山と水、米と肉、温泉と四季のまち。



えびの市  
LINE公式アカウント



えびの市広報  
Facebook



「マチイロ」  
マチを好きになるアプリ

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。